



Denshō プレスリリース

2003年9月シアトル発

連絡先：Patricia Kiyono

e-mail:patricia.kiyono@densho.org

## **Denshō (The Japanese American Legacy Project)の最新ウェブサイト、 In the Shadow of My Country—祖国の影で、最優秀賞を受賞**

Denshō (The Japanese American Legacy Project)は、ある日系アメリカ人家族の第二次世界大戦中の鉄条網の中での生活の思い出を、この2ヶ国語（日英）のマルチメディアのウェブサイト、In the Shadow of My Country—祖国の影で：日系人アーティストの追憶、に再現した。このウェブサイトは、ウェブ・アワード・コンペティションで2003年度ウェブデザイン最優秀賞を受賞。URLは、[www.densho.org/shadow](http://www.densho.org/shadow)（英語）、[www.densho.org/kage](http://www.densho.org/kage)（日本語）。アーティストとして高い評価を得ているロジャー・シモムラは、3歳の時アイダホ州ミニドカに収容され、当時祖母が著した日記に触発されてAn American Diary シリーズを発表し、その作品はアメリカ各地の美術館を巡回した。「In the Shadow of My Country – 祖国の影で」のバーチャル・エキジビションには、鋭い風刺のきいた作品が祖母の忍耐強い、楽観的な言葉と共に紹介されている。

この作品は、トク・シモムラの日記からの抜粋、収容所の写真、アーティストのインタビュー、幼少時に強制収容された日系アメリカ人の言葉、現在差別に苦しんでいる南アジア出身の子供達の肉声、Memories of Childhood シリーズ(ロジャー・シモムラのミニドカでの幼少時の思い出を辛辣に表現したもの)と共にウェブサイトを構成している。これらの画像と証言の数々は、無実の市民が直面した過酷で困窮した状態や、アメリカの捕虜収容所で過ごした“失われた”年月を追想する。

”今日でアメリカと日本の中で戦争が始まってから、一年が経ちました。両国の価値観を受け継ぐ私達は、一日も早く平和が訪れるよう祈ります。“トク・シモムラがアイダホ州ミニドカでアメリカ政府により、収容されている間に記した1942年12月7日の日記の冒頭。

このウェブサイトには、中高校生向きカリキュラムの為の教師用リソース・ガイドが掲

載されている。このリソース・ガイドは、「In the Shadow of My Country – 祖国の影で」のバーチャル・エキジビションに収録された資料の歴史的意味合いや、クラスでのレッスン例などを掲載し、学習者が幅広い分野にわたる学習活動を通して、情報や情報源を批判的にとらえ、様々な人種の人権と、国家の安全保障との兼ね合いを比較検討するよう企画されている。またウェブサイトと教師用ガイドは、日本語でも提供されている。

このウェブサイト「In the Shadow of My Country - 祖国の影で：日系アメリカ人アーティストの追憶」及びそれに関連する教材とワークショップは、米日財団の寛大な助成金により実現可能となった。尚、このプロジェクトは、ワシントン州芸術委員会及び全米芸術基金からの助成金も受けている。

#### Denshō アーカイブとウェブサイト

Denshō のウェブサイト ([www.densho.org](http://www.densho.org)) 上に近日公開された「In the Shadow of My Country—祖国の影で」は、第二次世界大戦中に強制収用された 12 万人の日系人に焦点をあてた記録文書やビデオで構成される内容豊かなデジタル・アーカイブである。Denshō のオンライン・アーカイブに収録された 100 件以上のライフストーリーや 1000 件にわたる文書は、年々その数が増えている。現在も 50 件のインタビュー、1000 件の文書をこのアーカイブに新たに加える作業がすすめられている。Denshō のウェブサイトは、歴史的意義の深い一次資料や小学校から高校生向けのカリキュラムを無償で提供しており、教師、学習者、一般人が、調査や教育などの目的で経済的負担なく利用できる。

インタビューは、ハワイ州上院議員で栄誉賞を受賞した第二次世界大戦の退役軍人、ダニエル・イノウエ氏、The Bainbridge Review のエディターでベストセラー小説 Snow Falling on Cedars の主人公のモデルとなったウォルト・ウッドワード氏、日系人を強制収用する為に第二次世界大戦中、陸軍省が発令した排除命令に最高裁判所で挑戦したゴードン・ヒラバヤシ氏らが対象となっている。Denshō は、これらのかげがえない証言や映像を、特定の人種の遺産としてだけでなく、国家の安全保障という名目で行われるあらゆる人間を対象とした人権侵害に対する警鐘として保管している。

アーカイブは日系人の歴史を 1800 年代の移民の時代から現在まで網羅しており、第二次世界大戦中におこった強制収容の要因を調査する目的で主に利用されている。アーカイブに収録されたビデオの抜粋は、1982 年に連邦議会の委員会が提示した強制収容の真の動機に関する記述をより印象づけるものとなっている。強制収容は、軍事上の必要性という観点からは正当化されず、人種差別、戦争時の異常心理、リーダーシップの欠如が根底にあると、委員会は発表した。

このウェブサイトを訪れる人達は、アメリカ史の中のこの悲劇的な出来事を生き抜いた人々の証言に耳を傾ける。彼らの個人的で、感情のこもった回想は、標準的な教科書がほとんど触れることのない劇的な出来事を生き活きと甦らせる。新聞記事や写真、プロ

パガンダ・ポスターや政府のメモ等の一次情報は、日本人移民やその子供たちが何に耐え、それを克服したかを理解する手だてとなる。高校の上級生向けに企画された オンライン・カリキュラムは、スタンフォード大学のインターナショナル、クロスカルチャーエデュケーションプログラムと共同で開発され、日系アメリカ人の体験に照らし合わせ、公民権について考察するよう構成されている。

Denshō について

Denshō とは、日本語で、「次世代に伝える」または、「遺産をのこす」という意味である。このシアトルを本拠地とする非営利団体は、第二次世界大戦中にアメリカ政府により強制収用された高齢化する日系人からオーラル・ヒストリーを収集することを目的とし、1996 年に設立された。その目的は、社会平等を推進する為の教育、資料の収集・保管、他の機関との共同作業という使命に進化をとげる。Denshō が提起する事象は、911 以降のアメリカ社会と重要な関連性がある。



**D E N S H Ō**

*The Japanese American Legacy Project*

住所 : 1416 South Jackson Street

Seattle, Washington 98144 U.S.A.

電話番号 : (1) 206-320-0095

ファックス : (1) 206-320-0098

e-メールアドレス : [info@densho.org](mailto:info@densho.org)

ウェブサイト : [www.densho.org](http://www.densho.org)